

カジダン といふ楽しみ方

～ 仕事も遊びも子育ても! ～

1日は 24時間、
1年は 365日 — 誰にでも平等にある(はずの)時間。
出来れば欲張って『仕事も遊びも子育ても!!』と過ごせたら・・・。
仕事のキャリアだけではない、ワーク・ライフ・バランスを考えた
今を楽しむ自分らしい生き方を、見つけてみませんか。

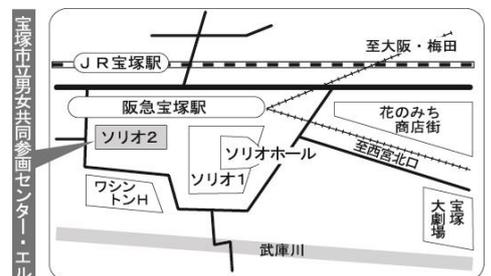
①10 / 31 (土) 10～12時	引きだせ! 家事場のパパチカラ ～ 仕事も遊びも子育ても! 何でも楽しむ ☆ 楽家事のヒント ☆ ～	家事ジャーナリスト NPO 法人日本洗濯ソムリエ協会 理事 山田 亮 さん
②11 / 14 (土) 10～12時	ある日、妻に先立たれたら? いつか誰もが通る道 今日から出来る 家事 = いえのこと	NPO 法人 京都いえのこと勉強会 理事長 木本 努 さん
③11 / 28 (土) 10～12時	自分を変える ☆ 社会も変える 'カジダン' といふ パパの生き方 ☆ 簡単 ☆ おいしいおにぎり・豚汁作り ☆	NPO 法人ファザーリング・ ジャパン関西 理事 桜井 一宇 さん

場 所 : 宝塚市立男女共同参画センター
 対 象 : テーマに関心のある 男性 30 人
 参加費 : 無 料 ※ ③のみ 材料費 500 円 (当日徴収します)
 持ち物 : (③のみ) エプロン、三角巾(バンダナ等) を持参ください。
 保 育 : 10 人 (1歳～就学前まで) 無 料・要予約
 申込み : 9 月 1 日(火) 9:00～受付 宝塚市立男女共同参画センターへ
 電話(0797-86-4006) または 窓口で * 先着順
 ☆ センターの HP から申込みが出来ます ☆

主 催 宝塚市立男女共同参画センター・エル
 宝塚市指定管理者

NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西
 宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ 2」 4 階
 電話 : 0797-86-4006 FAX : 0797-83-2424
<http://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



☆ 講師紹介 ☆



山田 亮さん 家事ジャーナリスト、NPO 法人日本洗濯ソムリエ協会理事

1967年香川県生まれ。妻は外で働き、夫は主に家事・育児を担当するというスタイルを実践。ホームページでジェンダー問題、男性が家事を行うこと、男性の生活自立などのメッセージを配信し、メディアにも取り上げられ、「スーパー主夫」として注目を集めている。著書に『プロ主夫 山田亮の手抜き家事のススメ』（宝島社）等がある。京都市在住。

木本 努さん NPO 法人 京都いえのこと勉強会 理事長

1963年京都生まれの京都育ち。1985年ダスキンフクウに入社。2006年全国のダスキンFCでも珍しい「血縁」ではない3代目社長に就任。2年11か月後、妻に癌の宣告。余命数カ月と言われたが12日後に逝ってしまう。当時3人の息子は11、6、2歳。家事をしたことのなかった夫が妻の役割も担うことに。会社と子育ての比重が逆転し、2013年10月代表辞任し退職。2014年7月にNPO 法人 京都いえのこと勉強会を設立した。



かすたか
桜井 一宇さん NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 理事



1975年大阪生まれ。「笑てる大人を増やし、子どもたちにより笑顔を」をミッションに、「父親が変われば家庭が変わる。地域が変わる。企業が変化する。そして、社会が変わる」のファザーリングジャパン(FJ)の理念に共感し入会。父親が家庭ともっと関わっていく素晴らしさを伝えるファザーリングな講演や、家族と過ごす時間のかけがえのなさ、相手を思いやる傾聴術を伝える講座など、関西を中心に活動中。地元岸和田を始め、関西各地で「笑てる父親のコミュニティー」構築事業を行っている。

“ワーク・ライフ・バランス”

仕事と生活の調和。「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

“イクメン”

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。2010年ユーキャン新語・流行語大賞 トップテン。もともとは、イクメンに引っかけたダジャレ型の新語。厚生労働省は「イクメンプロジェクト」を発足させ、男性の育児休業取得率を現状の2.03%から2017年度には10%に、2020年には13%に上げることなどを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでいる。

“イクジイ”

主体的・積極的に育児に関わりたいと望む中高年を指す。共働き家庭にとって大きなサポートの一つである。NPO 法人ファザーリング・ジャパンが「イクジイプロジェクト」を立ち上げ、父親の育児参画には課題が山積の中、育児の担い手として注目される。2012年新語・流行語大賞にノミネートされた。

“ソフリエ”

祖父とソムリエをかけ合わせた言葉。NPO 法人「エガリテ大手前」代表の古久保俊嗣さんが発案した。「ソフリエ」認定講座もある。

“カジダン”

家事に興味がある、または家事に積極的に取り組む男性のこと。家事男子の略（カジメンとも読む）。ドイツの家電ブランドの日本法人 ミーレ・ジャパン株式会社が2014年に行った「家事に関する意識・実態調査」では、家事に参加する男性が約6割を占め、「食器洗い」「風呂場・トイレなどの水回りの掃除」「部屋の掃除（掃除機がけ・そうきんがけなど）」がトップ3となった。男性は、妻よりもきれい好きを自負し、週末には掃除機がけも徹底的にする、という結果が出た。

「時うつり男もすなる厨ごと」

「泣き声でオムツ？抱っこ？解かるパパ」

「料理出す息子のエプロンよく似合い」

(平成26年度 男女共同参画川柳 入選作品)